

平成 25 年度第 1 回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時及び会場

- 平成 25 年 7 月 3 日（水）18:30 ～ 20:25
- 宇品老人いこいの家（南区宇品御幸四丁目）

2 出席者

- 16 名出席（1 名欠席）

3 議事要旨

（1）協議会の進行

- 平成 24 年度第 4 回協議会の議事概要の確認
- 遮水性能評価水位の算定方法等について
- 整備工事について
- 管理・運営について
- 地域振興策について
- 周辺環境の調査結果等について

（2）発言要旨

【平成 24 年度第 4 回協議会の議事概要の確認】

（意見なし）

【遮水性能評価水位の算定方法等について】

- ・ 護岸の変動は、どのくらいあるか。
 - 護岸の変動は、内外水位差による圧力が原因と考えられるが、今後、データを整理し、専門家への意見聴取を行った上で結果を報告する。
- ・ 水位の変動は浸出水が漏れているからではないか。広島市はどう考えられているか。
 - 遮水機能は場内水位と潮位とが連動していないことをもって判断するという考えに変化はない。今後、県において検討・検証されるので、市としては検証結果を踏まえて適切に対応していきたい。
- ・ （潮汐に伴い、護岸が微小に変形することにより場内水位が若干変動することがあるとマニュアルに記載されていることについて）
 - マニュアル策定時の実測データがあるのではないか。
 - マニュアル執筆元に問合せて検証の材料とする。
- ・ 干満の変動と水位の変動はどのくらいの連動性があるのか。
 - 干満の周期と水位変動の周期はほぼ同一。
- ・ 護岸変動のデータも併せて収集してもらいたい。変動がこれ以上大きくならなければ、水位変動は護岸の変動によるものとなるはず。
 - 護岸の変動について、計測方法を検証して早急に測りたい。

(会長) 検証期間が入ったことにより工程がずれるが、出来る限り早く結論が
でるよう努力し、遅れないようにしたい。皆さんへはしっかり理解できる形
にして説明し御理解を得たい。

【整備工事について】

(意見なし)

【管理・運営について】

- ・ 管理・運営を行う際の役割分担を示してもらいたい。
→ 今回は基本的な考え方を説明したが、今後、全体の体制も含め、詳細な内容について示していきたい。
- ・ 処分場に廃棄物を投入した月日及び位置は、記録するのか。
→ プログラムを作り、投入した月日、位置、深さ等を記録する予定。
- ・ 処分場内の捨てる場所はどのように特定するのか。
→ GPSにより特定する。
- ・ 車体に貼るごみ搬入車証は、大きく見やすいサイズに示してもらいたい。
→ また御相談のうえ決めたい。
- ・ 廃棄物の受入時の検査は、全数を対象にするのか。
→ 管理型廃棄物のみ対象とする。

【地域振興策について】

- ・ 業務受注者（中電技術コンサルタント株式会社）への発注額は。
→ 390万円余。
- ・ アンケートは、幅広い年齢層にバランスよく配布してもらいたい。
→ 町内会組織の代表者は御年配の方が多いと思うが、子育て世代や若者世代が中心となる公民館活動グループへも配布し、世代のバランスを取る。

【周辺環境の調査結果等について】

- ・ 処分場の職員に、粉塵による健康影響が出ないよう労働衛生を徹底してもらいたい。
→ 作業環境を測定し、職員に健康影響が出ないよう細心の注意を図る。

【その他】

- ・ 地域振興策について、港湾施設を開放してくれるのか。提案しても全部実現できないことにならないか。
→ 事業の実現性について、十分検討したうえで提案する。

※ 担当事務局

広島県環境県民局産業廃棄物対策課

TEL：082-513-2964（ダイヤルイン）